

二瓶隆一・木村哲彦・牛山武久・
陶山哲夫・飛松好子(編著)

頸髄損傷のリハビリテーション 改訂第2版

黒川幸雄
新潟医療福祉大学医療技術学部

●頸髄損傷者の生の声、共に歩むすべての関係者の必見の書

本書は、頸髄損傷者と共に歩む関係者にとっての座右の書であり、またリハビリテーションや保健福祉分野を学んでいる学生にとっても必見の書であり、経験が乏しい方々に是非お勧めしたい。

その理由は本書の特色に関係して、4点あります。

第一には、本書は長年にわたって脊髄損傷者の医学的、職業的、社会的、スポーツなどのリハビリテーションに従事してきたエキスパートが精魂傾けて仕上げたもので、再掲された初版の序文に見る津山先生、初山先生はご高名な先達ですが、その精神を受け継ぎ現在活躍中の二瓶先生、木村先生をはじめとする執筆者のリハビリテーションに対する情熱の賜物であります。即ち臨床的で、その裏づけが強固である点です。

第二には、2001年WHOで承認された国際生活機能

分類(International Classification of Functioning, Disability and Health; ICF)に沿って、内容的には、健康状態、心身機能・身体構造、活動、参加、そして環境因子、個人因子などICFの分類に含まれる要素が網羅されていることです。

第三には、写真・イラストなどを豊富に駆使して臨場感を盛り上げ、読者の期待に応えている点です。特に学生の場合は臨地実習・臨床実習などで得られる機会が少なくなってきましたので、こうした写真・イラストなどの多用が内容の理解を容易にしています。

第四には、特に6名の頸髄損傷者の方々の生の声は、何物にも代え難い貴重な宝であります。本書が信頼の中ででき上がってきていることの何よりの証であります。このような企画は、リハビリテーションの専門家の仕事の検証になるもので、統計的な検証などを超える1人ひとりの障害を有した方々の闘病歴、リハビリテーション歴、QOLとして実証されるものであります。

最後になりますが、本書が多くの頸髄損傷者の方々および関係する方々にとって、人生に希望と勇気を与える機会を生み出す契機となりますことを祈念させて頂きたいと思います。

●A4判 354頁

定価 5,460円(本体 5,200円+税 5%)

2006年 協同医書出版社・刊